

第2学年C組 英語科学習指導案

展開場所
指導者

研究主題 「心を耕す集団作り」

教科の努力点 「グループ活動を通じたコミュニケーション活動の工夫」

1 単元 UNIT 2 Lesson 3 Visiting New Zealand

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、アキが夏休み中にニュージーランドを訪れている設定である。to不定詞の3つの用法(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)、部分否定の応答や感嘆文を、現地を巡る場面の中で学習するため、日常的な言語活動をするのに適した題材である。

また、異文化理解の観点からは、ニュージーランドの生活・文化・マオリ族について触れるので、ニュージーランドについて新たな発見が得られたり、コミュニケーションを円滑化するための文化的知識を学ぶ題材でもある。

「聞くこと」「話すこと」の言語活動では、to不定詞の用法を用いて「夢や希望について話す」「理由を説明する」「慣習・目的などを説明する」内容を、聞き手に正しく伝えたり、聞き取ったり、それに応じたりすることを学ぶ。また、部分否定を用いた応答や感嘆文の使い方を学習する。「読むこと」「書くこと」の言語活動では、to不定詞の用法を用いた英文を正しく書いたり、内容を正確に読み取ったりすることを学ぶ。また、音読や暗唱から、対話文の内容や話し手の気持ちを表現することを学ぶ。

(2) 生徒の実態

(3) 指導観

本単元の話題や場면을踏まえて、話し手の表している内容を理解する力と自分の伝えたいことを英語で話す力が身に付くよう指導し、言語活動をとおして総合的なコミュニケーション能力の向上を図っていききたい。

言語の知識としては、まず、to不定詞の用法を習得し、「夢や希望について話す」「理由を説明する」「慣習・目的などを説明する」ことができるようにさせたい。その際、既習の知識と混乱しないよう、基本文を繰り返し発音することでその用法に慣れ、最後にワークシート等を利用して書く活動を行い、基本文法の確実な定着を目指したい。さらに、部分否定の応答文や感嘆文を日常会話に応用できるよう、繰り返し発音させたい。教科書本文を扱う際は、内容の読み取りと文法事項の習得だけでなく、異文化に触れ、関心を高めるきっかけとなるようにしたい。

心を耕す集団を作るために、グループ活動を取り入れ、お互いの考えを交換したり、助け合って学習を進めたり、異文化に興味を持ち、人種差別等の問題を考えたりして大きな視野と広い心を育てたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

- ア 積極的に英語で対話しようとする。 〈コ〉
- イ 英文の内容や対話文の話し手の気持ちが表現されるように音読、または暗唱できる。〈表〉
自分の言いたいことを英語で表現できる。
(「夢や希望について話す」「理由を説明する」「慣習・目的などを説明する」) 〈表〉
- ウ 英文の内容を正確に読み取ることができる。 〈理〉
質問に対し適切に応答することができる。 〈理〉
対話をとおして、相手の述べた内容が理解できる。 〈理〉

- エ to不定詞の3つの用法を理解する。 〈知・理〉
 部分否定や感嘆文の用法を理解する。 〈知・理〉
 マオリ族について触れ、異文化の知識を広げる。 〈知・理〉

(2) 評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
to不定詞を使ったインタビュー等の言語活動に意欲的に参加している。 (1) ア ・英語の音声を正しく発音しようとしている。 (1) イ ・英文の音読を意欲的に取り組める。 (1) ウ ・文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して英文を書こうとしている。 (1) エ	・to不定詞を使い、適切に説明したり、問答したりできる。 ・部分否定の応答文や感嘆文を使い、相手に正しく伝わるように、感情を込めて発音できる。 (1) ア, イ ・英文を、感情をこめて音読したり、暗唱したりできる。 (1) ウ ・身近な場面における出来事などについて、自分の考えや気持ちなどを書くことができる。 (1) エ	・to不定詞が使われた英文を聞いたり、読んだりして適切に応じることができる。 ・自然な口調で話された英語を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。 (1) ア, イ, エ ・教科書本文の内容を正確に読み取ることができる。 (1) ウ ・自分の考えやが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。 (1) エ	・英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。 (1) ア ・to不定詞や部分否定、感嘆文を用いた文の内容を正しくとらえることができる。 (1) ウ ・to不定詞の3つの用法を理解し、正しい英文を言ったり書いたりできる。 (1) イ, エ

4 指導計画と評価計画 (本時1/8)

学習課程	時配	主な学習内容	評価基準
見出す	第1時	to不定詞(名詞用法)の学習 ・絵を見て英語で表現する。 ・インタビューゲーム ・夢や希望を話す	・to不定詞(名詞用法)を使い、意欲的に言語活動に参加できる。 〈コ〉 ・to不定詞の名詞用法を使って、質問したり、答えたり、話したりすることができる。 〈表〉
慣れる	第2時	教科書Lesson 3-1の本文理解と音読 ・新出単語、本文訳、発音練習をする。 ・Activity 1 ・ワークシート	・キーセンテンスの意味がわかり、書ける。 〈知・理〉 ・本文を正しく読める。 〈表〉 ・対話を読んで内容を理解できる。 〈理〉 ・部分否定の応答を理解する。 〈理〉
見出す	第3時	to不定詞(副詞用法)の学習 ・インタビューゲーム ・ワークシート	・to不定詞(副詞用法)を使い、意欲的に言語活動に参加できる。 〈コ〉 ・to不定詞の副詞用法を理解し、説明したり、書いたりすることができる。 〈表〉 〈理〉
慣れる	第4時	教科書Lesson 3-2の本文理解と音読 ・新出単語、本文訳、発音練習をする。 ・Activity 1 ・マオリ語に触れる。	・キーセンテンスの意味がわかり、書ける。 〈知・理〉 ・本文を正しく読める。 〈表〉 ・対話を読んで内容を理解できる。 〈理〉 ・マオリ語に興味を持てる。 〈知・理〉
見出す	第5時	to不定詞(形容詞用法)の学習	・to不定詞(形容詞用法)を使い、意欲

		<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴゲーム ・ワークシート 	<p>的に言語活動に参加できる。 〈コ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞の形容詞用法を理解し、説明を聞いたり、書いたりすることができる。 〈表〉 〈理〉
慣れる	第6時	<p>教科書Lesson 3-3の本文理解と音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語, 本文訳, 発音練習をする。 ・Activity 1 ・マオリの文化に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーセンテンスの意味がわかり, 書ける。 〈知・理〉 ・本文を正しく読める。 〈表〉 ・ペアで本文を暗唱できる。 〈表〉 ・対話を読んで理解できる。 〈理〉 ・マオリ族の文化に興味を持てる。 〈知・理〉
深める 伝え合 う	第7時	<p>Task</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話を聞いてその内容を聞き取る。 ・to不定詞を使って会話をする。 ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問を聞いて適切に応じることができる。 〈理〉 ・英語を聞いて情報を正確に聞き取ることができる。 〈知・理〉 ・既習の文法事項を使い, 英語で言ったり書いたりできる。 〈知・理〉
深める 伝え合 う	第8時	<p>Signs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな英語の標識を知る。 <p>Useful Expressions</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をするときを使う表現を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国, イギリス, ニューゼーランド, オーストラリアの標識を見て, いろいろな標識に興味を持てる。 〈知・理〉 ・食事をするときを使う表現を正しく言える。 〈表〉 ・スキットを楽しく演じることができる。 〈表〉

5 本時の指導

- (1) 目標
- ・to不定詞(名詞用法)を使い, 意欲的に言語活動に参加できる。
 - ・to不定詞の名詞用法を使って, 質問したり, 答えたり, 話したりすることができる。

(2) 展開

時配	学習内容と活動 (T:JTE, S:students)	支援(・) 評価(○) 心を耕す(*)	資料
2	<p>Greeting</p> <p>T: "Hello, everyone." S: "Hello, Ms. Okamura." T: "How are you?" S: "I'm ~." etc.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で元気に挨拶し, 英語学習の雰囲気を作る。 	
5	<p>Introduction</p> <p>絵, 写真などを使いながら, to不定詞(名詞用法)の文を導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者の言っている英文を聞き, 内容を推測する。 <p>学習課題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>夢や希望を話そう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・英文をゆっくり, 繰り返し発音する。 ・英文の意味がだいたいわかったかを確認する。 	

15	<p>Learning the new grammar 絵などを見ながら, to不定詞 (名詞用法) を使った英文の発音練習をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度もリピートする。 ・to 不定詞の形を意識する。 ・絵を見て英文を言えるようにする。 <p>T: to 不定詞の名詞用法を板書する。 S: 板書をノートに写す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し発音して用法に慣れる。 <p>○活動の観察 絵を見ながら, 大きな声で発音しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用法を理解したかを確認する。 ・努力を要する生徒への支援: 正しく英文を写しているか確認する。 <p>○活動の観察・机間指導 板書事項をノートにまとめているか。</p>	
5	<p>Practice to不定詞を使って, 夢や希望を言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は絵などを見ながら質問と応答を繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し発音して, 用法を定着させる。 <p>* 将来の夢や希望を持たせるきっかけにする。</p> <p>○活動の観察 英語をよく聞き, 意味を考えたり発音したりしているか。</p>	
10	<p>Activity 1 ・インタビューゲームを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを確認してから始める。 ・英文が正しく言えるように, 個別に対応する。 <p>* ルールを守り, 誰とでも楽しく会話ができる。</p> <p>○活動の観察 ゲームに積極的に取り組んでいるか。 to 不定詞の名詞用法を使って, 質問したり, 答えたりすることができるか。</p>	インタビューシート
11	<p>Activity 2 and Consolidation インタビューで得た情報をグループ内でシェアする。 to 不定詞を使い, 将来の夢や希望を表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導で個々を支援する。 <p>* グループで協力し, 全員がインタビューシートを仕上げる。</p> <p>* 将来の夢や希望を持たせる。</p> <p>○to 不定詞の名詞用法を使って, 将来の夢や希望を話すことができたか。</p>	インタビューシート
2	<p>Greeting T: Good-bye, everyone. S: Good-bye, Ms. Okamura. T: Have a nice day! S: You, too.</p>		

6 板書計画

Monday, July eleventh, weather

Lesson3-1 Target 夢や希望を話そう。

Key Point

I **want to eat** ice cream. ←What do you **want to do**?
私はアイスクリームを食べたいです。 何をしたい？

I **want to be** a science teacher. ←What do you **want to be**?
私は理科の教師になりたいです。 何になりたい？

My dream

イラスト	